

## 内田消費者庁長官記者会見録

(平成21年9月10日(木) 14:00~14:26 於) 消費者庁記者会見室)

### 1. 発言要旨

今日で、消費者庁が発足して10日になりました。それで、1日に消費者安全情報総括官会議を開催いたしました。これは、1日の会見でもお話し申し上げたように、とにかく発足と同時に法の執行と、それから安全への対応はフル稼働できるようにしたいということで、そういう趣旨もあって開いたのですけれども、10日たちましたので、その間、いろいろな消費者事故に関する情報とか、重大事故に関する情報等々、集まってきているわけですが、この10日間に起きたことを各省で情報共有して、かつ、点検してもらいたいということで、消費者安全情報総括官会議の課長級の幹事会を開いて、この間の情報の共有と、それからこのシステムがどう動いているのかという点検をしてもらうことをお願いいたしました。消費者安全課の課長に指示いたしましたので、いつ開くのかとか、その辺については消費者安全課のほうにお問い合わせいただきたいと思います。

それから、お手元に今日、資料をお配りさせていただきました。これは、一部おわびも兼ねてということなのですが、「庁舎の選考の過程を透明にすべきだ」という御質問がありまして、9月1日に私は、「お問い合わせがあれば、総務課で御説明できると思います。基本的にはお示しできると思います」というふうに申し上げました。当時、私は個別対応の取材にオープンにお答えできるという気持ちだったのですが、考えてみますと、「一方で企業秘密にわたる部分もあるので、その辺の点検もする必要があるから、直ちにというわけにはいかないよね」という話もしたと思います。ということは、準備ができた段階で、仮に個別取材の対応であっても、対応できる状態ができた時点で、皆さんに「準備できました」というお知らせをやはりすべきだったのかなと、ここはちょっと抜かったなど、正直思っております。

そういう反省もありまして、今日この場で、その資料をお配りさせていただきました。詳細は、ぜひ総務課長にお聞きいただきたいし、必要なら御説明させたいと思いますけれども、そういう趣旨でこの資料はお配りしたということでございます。

私からは、以上2点でございます。

### 2. 質疑応答

(問) 10日間たったというお話なのですけれども、10日間を振り返られて、うまくいった部分と、あまりうまくいっていない部分などありましたら、率直な御感想を含めてよろしくをお願いします。

(答) まだ集計が厳密にできているわけではありませんけれども、情報ダイヤルは恐らく1,000件を超える電話が入っていると思います。国民の関心あるいは御期待の高さの反映かなと、改めて責任を感じております。

それから、先ほど申し上げた消費者事故とかに係るような情報も、恐らく各省あるいはセンターから、100件を超えるものが来ているのかなと、こう思います。先ほど申し上げたように、うまくいっているかどうか、もう一回、きちんと点検する必要がありますけれども、そのところは、今のところは幸い機能しているのではないかと私は思っております。

す。

最近、私のところにも、日々の業務遂行と思われるような決裁とか相談が上がってくるようになりましたので、一応、動き出したかなという感じは持っております。ただ、まだ庁内のお互いの課の連絡が十分なのかとか、そこら辺はまだまだ磨いていかなければいけないところがありますので、幹部会等で状況を把握しながら、徹底していきたいと思います。

いずれにしろ、一日も早く業務がフル稼働できるように、職員には頑張ってもらわなければいかぬなど、こう思っております。

(問) 先日、シンドラのエレベーターの件で、国交省の事故対策委員会が報告書をまとめたと思うのですが、消費者庁設立に関しては、遺族の市川さんがかなり御活動を協力されてきたということで、このエレベーターに対する今後の取組などをお聞かせいただければと思います。

(答) 原因の報告がありました。時間がかかったことが、やはり国民から見て随分お怒りでもあるし、不信にもつながったのだと思いますけれども、そういう報告が出て、その間に、例えば国土交通省と警察庁との間でお話し合いをされて、今後、起きたときの対応のシステムが改善されたとか、それから国土交通省自身もいろいろな検査の項目ですとか点検のあり方ですとかについて、指針を出されました。一応、担当の国土交通省側の対応が整いましたので、我々としてはこれがうまく動くのかどうか、本当にそれで機能するのかどうか、きちっと把握し、見ていきたいなと思っております。

(問) 立ち上がってから10日ということで、ただ、来週の月曜日から、一部、共通のダイヤル、共通番号が始まったりしますけれども、消費者庁が果たすべき役割、あるいは持っているポテンシャルに対して、今日現在の稼働率、大体の勘でよいのですけれども、それが10%ぐらい動き始めているのか、それが50%なのか、もう直感の世界で構わないのですが、大体どのくらい稼働しているのですか。

(答) ちょっと数字でいうのは、私も全く、幾ら直感でよいと言われても、自信がありません。先ほども申し上げたように、私のところに上がってくる情報から見ると、やっと平常時に移りつつあるなという感じもいたしますし、一方で、「あそことあそこの連絡がもうちょっとあったほうがよかったな」と思うところもあります。そんなことで、動き始めているけれども、まだまだよく見て、フル稼働に近づくようにきちっと把握し、職員にも言っていきたいなというところ です。

(問) この10日間に、今言われた反省すべき点、「こうすればよかったな」と思う点というのは、具体的にはどういうことが挙げられるのでしょうか。

(答) まだ大きな何かにつながるようなことは起きていないと思っておりますけれども、例えば、私は個別対応と思ったけれども——さきのような話ですよね。だから、準備ができたのなら、ちゃんと皆さん方にお知らせすればよかったなど。そこのところの私からの意思が十分伝わっていなかったとか、そういうたぐいの、今、気づいているのはそういうことですね。また来週でも幹部会がありますから、各課長にも状況は聞いてみたいと思っておりますけれども。

(問) 資料がここに配られていますけれども、長官御本人は、これをもとにして庁舎の選定についてどういうふう把握されて、どういうふう理解されているのですか。

(答) 価格の点が指摘されましたけれども、御覧いただきますように、当山王パークタワービルよりも高いものもあれば、安いものもあります。これを選ぶに当たって、点数がつけてございます。この辺は、総務課長にぜひお聞きいただきたいと思いますが、一番やはり、その当時の大臣のお話などをお伺いしても、霞が関に近いこと、つまり、各省との連携が消費者庁の要でございます。それから、重大事故等が起これば、時間を問わず参集していただくような事態も当然あり得るわけでございます。そういう意味で、距離を最重視したというふうに聞いております。恐らく、この点数、山王パークタワーが当然一番高くなっておりますけれども、ここには距離の要素が大きく反映されていると思っております。もちろん、各省との関係もあります。それから、いろいろな内閣府の業務を兼ねておられる大臣が多い。したがって、大臣にも近いほうがよい、官邸にも近いほうがよいということで点数をつけていって、ここになったのだらうと思っております。価格については、これよりも高いところもあれば、安いところもあるけれども、そこを重視して選ばれたので、お預かりした私どもとしては、立地の便を与えられたわけでございますから、これを使って近くに選んでくださった方たちの思いに応えるような仕事をきちんとしていく、そういうことだらうなと思っております。

(問) この紙だと、どういう点が何点なのかというのが全然見えていないので、もう少し詳しいものをいただくように、それこそ今日中に出していただくようにお約束いただきたいのですけれども。

(答) そこは、一度、聞いていただけませんか。ビルについての話になりますから、総務課長にぜひ説明させます。

(問) 総務課長は、今日、午前中から14時までには対応できないということで、一切電話がシャットダウンでして。

(答) それは大変申しわけありません。

(問) それこそ不信感を募らせるような対応だと思うのですけれども。

(答) そんなことではないと思いますが、わかりました。

(問) ですので、長官の会見が終わった後、多分、総務課長は見えているのでしょうかから、ここで説明していただくのがよいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

(答) 今は総務課長の顔が見えないので、説明できるように指示いたします。

(問) 金曜日に野田大臣が、消費者庁に行く予定だというふうにおっしゃっていたのですけれども、長官に何かアドバイスを大臣からされたとか、そういうお話はあったのでしょうか。

(答) いや、ずっと回っていただいて、職員にお声をかけておりましたけれども、特に何かアドバイスをいただいたというふうには考えておりません。まあ、「一生懸命やってね」というのはありましたけれども。

(問) 消安法に基づいた重大事故、拡大のおそれのあるものが公表されたのですが、その公表は都道府県名にとどまっていたのと、あと、製品名とか商品名というのが出ていなかったのですが、もちろん第一報ということもあって、なかなかメーカーとやりとりもしていない中での迅速な公表という点では評価できるのですけれども、メーカーとの対応というのがなかなかできなくて、製品名とかを出せなかったということも聞いたのですが、それについてお考えを聞きたいのですけれども。

(答) 製品事故については、もう一定のルールが決まって動いております。それから、消費者事故についても、そういうことで始めたところでありまして、恐らく製品事故に準じたルールでやっていると思いますけれども、そこは皆さん方にしっかり御納得いただけるようなルールで運用したいと思います。

(問) 工程表の進捗具合についてお聞かせください。

(答) 今、それぞれ各課で、各課の事務の洗い出しをやっているところと聞いております。

(問) また、賃料のほうの話なんですけれども、確かに官邸とか国会に近いに越したことはない、それはだれしもわかる話であります。ただ、やっぱり距離が遠くなればなるほど安くなるというわけではないんですけれども、適度に離れていて、なおかつ安いという物件もあるように見受けられます。

ちょっと、やっぱり細かく聞けば4フロア、5フロアに分かれているとか不便な点もあると思うんですけれども、どこまで不自由さを我慢しつつ適度なコストで最大の効果を上げるかという、そこは非常に判断の難しいところではありますが、距離をとにかく優先したことによって、結果的に、もうちょっと安い物件も2割とは言いませんけれども、1割、2割ぐらい安い物件でも選べたのではないかという気もするんですけれども、緊急事態に駆けつけるというのもわかるんですけれども、適度に離れていてもいいんじゃないかという、国民が思わなくもないと思うんですが、本当にここが最低のコストで最大のパフォーマンスを上げられる場所と考えていいんでしょうか。

(答) 今、御質問の中にもありましたように、それぞれのビルの属性をぜひお聞きをいただきたいと思います。その上で、やはり消費者庁が与えられた司令塔、各省との連携という中で距離が重視をされた、これは私どもは、今お預かりしている側として大変ありがたかったと思いますし、これを生かしていきたいと思います。

やはり、どことは申しませんが、こう見ていくと、やっぱりここじゃあなという地名が、その土地が悪いという意味では毛頭ありませんが、常時、各省と行ったり来たりをする、あるいは緊急時は時間を問わず来ていただくということを考えると、このある距離以内だと、その中で比較をするとここというのは、そうだなと私は思っております。

(問) 距離のことなんですけれども、官邸とは確かにすごく近いんですけれども、各省が集まっているところから、必ずしも近くないのかなという印象を私は持っているんですが、虎ノ門とかというところもありますけれども、この「虎ノ門」がどの辺を指すのか具体的にわからないのであれなんですけれども、ここは内閣府を中心に考えられたということなんでしょうか。

(答) もちろん大臣が内閣府におられますので、そこの距離も考えました。それから、やっぱり各省との距離、皆さんも首相官邸なり等の距離で仕事をしておられると思うんですけれども、そういう意味では官邸に近いということで、やはり各省からもアクセスしやすい場所だというふうに考えております。

(問) 民主党の閣僚人事がこれから詰まってくるんですけれども、先日は、三役のほうにお会いしたいという希望は出されているということでしたけれども、その後、党のほうから呼ばれたということは、三役に限らずありますでしょうか。

(答) ございません。

(問) くどくて申しわけありません。賃料のことなんですけれども、条件の中で「月額賃

料1平米当たり1万2,220円以下」とありますが、これは私が聞いているところによると、かつて内閣府が負担した一番高いビルの家賃だと聞いています。

この永田町かいわいの高級ビルですけれども、例えば1万2,220円以下という、この条件をもうちょっと下げるとかいう判断もなかったのかなと、これはもう当時の内閣府の国民生活局長とかの委員会の話ではあるんですけれども、この上限家賃の設定の仕方というのはどう思われますか。

(答) 公募をして広く見ていく、それから使い勝手を見ていくという中で、その上限として、これまでその時点で、一番高いビルを上回らないというのが一つの判断だなどと思えますね。そこの何掛けとか言い出すと、なかなか今度は基準が難しく、その上で見ていくということですから。

(問) 適切だと。

(答) はい、この選定時点で一番高い賃料を払っているところを超えないという設定は、一つの考え方だと思っております。

(問) 先ほどこちらの方が質問というか要望をされた件で、こういう資料を配ると。そのときに説明をする担当者がその場にはいないというのは、長官がその方にかかわって質問に答えていただけるのであればいいんですけれども……、いかがなものかなと思ひまして、それは意見として申し上げると、得点の内訳というのは、長官御自身は資料をごらんになっていただけるわけですか。

(答) 見ております。

(問) そうすると、細かいかもしれませんが、評価項目で立地場所、面積、値段、構造云々というのは、この優先される順位というのは長官のお考えでいうと、どういう順番でしょうか。

(答) それぞれに点数をつけておりますから。

(問) わかりますけれども。

(答) その合計で見るので。

(問) 具体的な点数を伺っているのではなくて、長官はこの中でも、とにかく立地場所が一番大事だなというふうに思われているということですね。

(答) 合計の点数にそれが一番高く反映されたと思っております。

山王パークタワーが非常に高い点数をとったのは、ほかにおいて、ほかの要件で劣後なところがなくて、これが一番立地条件がよかった。その結果、一番高い点数をとったというふうに理解をしています。

(問) 後の残りについては、それほど優先順位については、ビル管理は大事だよとか、占有部分の説明は大事とか、そういうことは実務上はそれほど気にならないとか、値段も含めて。

(答) そのそれぞれの項目に10点満点で点数をつけていっているんですけども、山王パークタワーについて、なぜこう高い点数をとったかといえば、申し上げたように立地がよかったこと、それから他において、他の項目でそう劣後になるものがなかったということだというふうに申し上げております。

(問) これのちょっと根本的な、基本的な話ですけれども、評価項目を同じように5段階、同じ点数をつけていらっしゃるんですね、これ。立地場所も5点なら5点とか、面積は何

点とか。

(答) ごめんなさい、そうですね。同じ、採点基準のところのこと。

(問) はい。

(答) 失礼しました。

(問) 「消費者目線」と言ったときに、賃料とかも結構、税金を払っている人から言うと優先順位は結構上に来るんですけども、そこら辺の、それをどれぐらい重視するのかというところに何か目線というか、ずれがあるのかなという印象を持ったんですが。

(答) 先ほど申し上げましたように、あるいは御質問にもありましたけれども、これを上回ってはならないという額を設定をしていただいた。その中で、特に消費者庁の機能を十分に発揮する項目として、ここでは立地場所、それから事務所の効率性、特に200人の小さな世帯で、ここではそれぞれ仕事を分担をしますので庁内での連携がとれるのか、例えば情報を集める部門と、執行部隊が一緒にいることの利点が生かせるのかとか、そういうようなことを考えて、委員の項目があるのだらうと思いますけれども、仕事をいかに国民の期待にこたえる仕事ができるのか、能率よくできるのかということが高く評価したというのが、この考え方になっております。

(問) 本当にくだいですがけれども、情報ダイヤルでしょうか、5階で一部、消費者からも声をとっていますけれども、そういった中で例えば賃料が高いんじゃないかとか、そういった国民の声は来ているんですか。

(答) そういう声があったということは聞いていません。聞いていなかったからなかったのか、1回聞いてみようと思います。

(問) 結果的に高いということで批判が大分集まっているわけですがけれども、もちろん、みすぼらしいビルに入る必要はないと思うんですけども、それにしても結果的に高いところに入ってしまったなということというのは、内部でもそういう話、反省点としては上がっているんでしょうか。だとすれば、この後どういうふうにしていこうというふうにお考えでしょうか。

(答) みすぼらしいビルでもちっとも構わなかったと、それは思います。

先ほど申し上げたように距離、それから使い勝手を重視して選んでいただいた、その動きやすいようなビルを選んでいただいた、選定の意図にこたえたいと思っております。今、庁内で高かったなという、したがって失敗したなという声があるとは聞いておりません。

(以 上)